



# 福王寺だより

早いもので年の瀬であります。ようやくコロナも小休止となり、何気ない日常に戻りつつあります。コロナは私達の常識を改めて見つめ直す機会となり、今後この経験がより良く生きるための礎となるよう忘れずにいたいと思います。

まだまだ予断が許されない状況ですが、思い合つて過ごしましょう。 合掌

## お初穂志納金をお願い

お初穂ってなに？

福王寺では、毎年年度末に「お初穂として」ご寄付のご案内をさせて頂いております。

檀家さんの中には、維持費と間違えられる方がいらつしやるのですが、お初穂は維持費ではありません。

「お初穂」とは、畑や海で収穫されたいわゆる「初物」と呼ばれるものを神仏へ捧げて供養していただきました、感謝のしるしです。

福王寺でも、一年の最後に感謝の心を神仏にお供えする機会として、皆様にお初穂をお願いしております。

例年は、三千円から三万円程度、

お力、お気持ちに応じて、お供え頂いております。

地方の方には振り込み用紙を同封させていただきます。

一年の思いを込めて、仏様に

お供え頂きましたら幸いです。

皆さまにご本尊様のご加護がありますよう。



## あの時のひとこと

皆さんの人生で、ここに残った「ひとことや出来事」はありますか？

普段の何気ない会話の中や、出来事の中で忘れられない「ひとこと」。

私がいち思い出すのは、高野山での修行中に言われたことです。

「今は辛いかもしれないけど、外に出ると修

行は出来なくなる。この一年がお坊さんとしての自信となるで、しつかり励みなさい」といった言葉です。いるときは、「早く終われ」と思っていたが

こうしてお寺に入ってみると確かに集中して修行する時間は取れませんが、あのときの体験は僧侶としての自身にもなっています。

「なんかありがたいな」と思い返します。皆様もそんな経験ありませんか？

「利他」という言葉があります。他を助ける行い。これが意外と難しい。

「ありがた迷惑」になつてしまつたり、「してやったのに」と上下関係を作ることにもなりかねません。

「利他」には受け取るかわの心が大きく関わってきます。先の話のように修行中には響かなくても、後からその心に気づき有り難いと思えてくる。

そう考えると利他は過去からやつて来るとは思えないでしょうか。それに気づいてあげる、過去とは死者ともいえます。

亡くなった人に再び出会い、「あの時こうだったんだね」と気づいてあげることが、故人の利

他を発動する事になり。なんか優しい気持ち  
が生まれます。

今年ももう終わりです、コロナや気候変動  
など様々な情勢が変わる中でも、死者からの  
メッセージを受け取って、歩んでいきたいです  
ね。

合掌

### 行事のご案内

十二月二十一日

### 「納め大姉」

今年最後のお大師様の縁日です。

福王寺婦人部中心でお参りしております。

一月一日 午前零時

### 「修正会」(初詣)

新しい年に際し、檀信徒皆  
様の一年の幸せを祈る御祈願  
をしております。  
御祈願したお札を皆様の家  
にお届けに「年始参り」として  
伺っております。



初詣こられた方にはお名前を書いていただき  
おり、書かれた帳面は本堂の曼荼羅の前に奉  
納致します。

写経等もできます、ずっと座ってお参り頂くよ  
うな事でもありませんので、新年に際し本尊  
様、ご先祖様へご挨拶に来ませんか？

### 「初大師・檀信徒新年会中止」

例年、一月二十一日、お大師様の新年はじ  
めてのご縁日にお参りと、檀信徒の交流会をし  
ておりました。

しかし新型コロナウイルス対策のため、もう  
少し様子をみて中止といたします。

お大師様のお参りは  
総代さんが代表して、  
お参りさせて頂きま  
す。

お大師様の加護が  
ありますように。



### 「節分・厄除け祈願、各種祈願」

二月六日(日)

福王寺 午前十一時

二月十一日(金)

北見別院 午後一時半

令和四年度 男性の厄年

二十五歳…1988(平成十年)生まれの男性  
四十二歳…1981(昭和五十六年)生まれの男性  
大厄

女性の厄年

十九歳…2004(平成十六年)生まれの女性  
三十三歳…1990(平成二年)生まれの女性  
三十七歳…1986(昭和六十一年)生まれの女性  
六十一歳…1962(昭和三十七年)生まれの女性

厄除けはもちろん、家内安全、交通安全、  
安産祈願、合格祈願等。  
代理でお子様やお孫  
様のご祈願も受け付け  
ます。

<https://fukuoji.info/>

